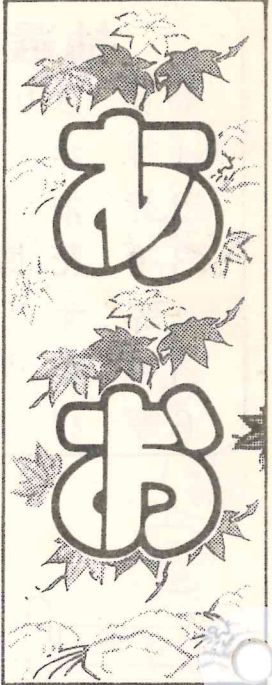


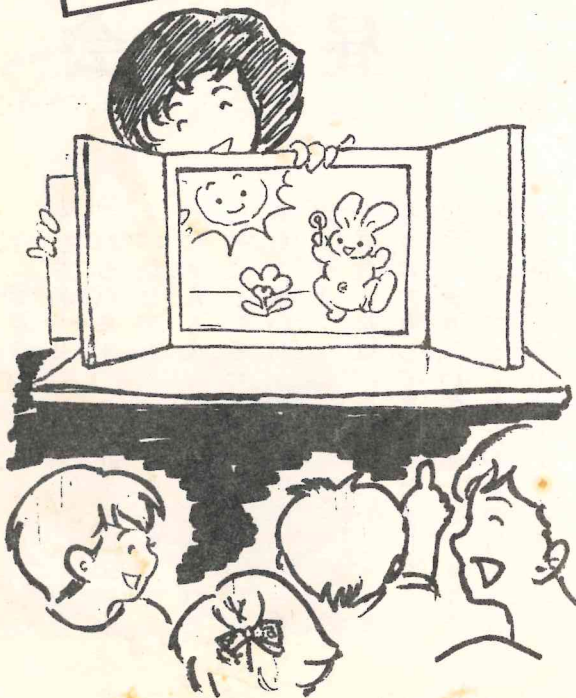
8月5日、思いっきり夏祭り



栗生第二住宅
自治会ニュース
第153号
平成2年7月31日

発行 自治会
編集 広報部

昔なつかしい紙しばいやお菓子...
楽しみな一銭焼きやかき氷...
子どもたちにはスーパーボールすくい、
輪投げ、ヨーヨーつりに金魚すくい.....
それに、賞品の当たるくじ引き大会
ワクワクする催しがいっぱい!
「お父さん、お母さん、連れてって!!」



8月5日の

自治会夏祭りについて

毎年、8月初めに行われていた粟生団地の盆踊りは、回覧などでお知らせしたとおり、豊川北小学校の運動場の土の入れ替え工事により中止となりました。防犯、交通上の理由から代わりとなる広い場所がなく「何かみんなで楽しく過ごせる催しを」と考えた末、集会所や緑風公園（通称パンダ公園）で、夜店を主とした行事を行うことに決定しました。内容は次のとおりです。ぜひ、みなさんご家族連れでいらしてください。

日程 8月5日(日)
紙しばい 午後2時から4時(三)

回公演)

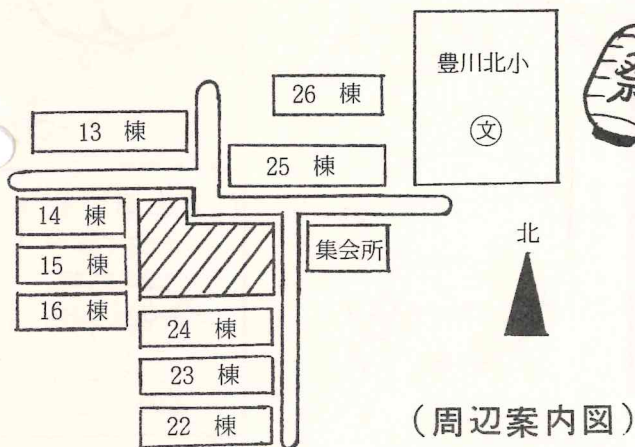
夜店 午後4時30分から8時
▽一銭焼 ▽焼そば ▽綿菓子 ▽かき氷 ▽ポップコーン ▽駄菓子コーナー ▽ジュース、ビール ▽アケサリ販売 ▽スーパーボールすくい(無料) ▽輪投げ(無料) ▽ヨーヨーつり(無料)など

抽選会 午後5時から7時30分
なお、抽選券は前もって会員のみなさんにお配りします。ハズレでもジュース二本を進呈。



抽選会の賞品

- 特賞 3万円の旅行券... 1本
- 1等 ホットプレート... 2本
- 2等 缶ビール... 4本
- 3等 花博入場券... 5本
- 4等 すいか... 10本
- 5等 花火セット... 30本
- 6等 バルーン... 50本



福寿会のお年寄りと昼食会

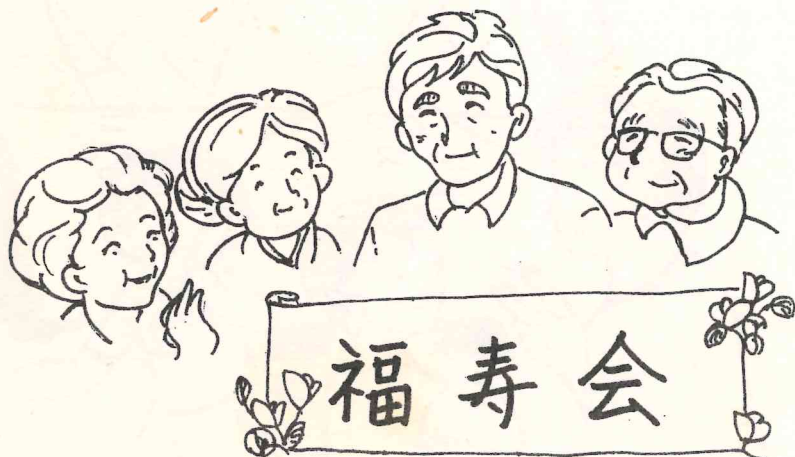
「団地に住んでいるお年寄りのみならずと親ぼくを図ろう」と、6月10日にコミュニティセンター鐘の鳴る家で、第二住宅老人会「福寿会」のみなさんと自治会役員との昼食会が行われました。

集まったのは、福寿会会長の芳賀邦子さん(74歳)を始め十九人と、自治会側が会長、福祉厚生部長など六人。お互いの出席者の紹介や、ふだん団地内の掃除など奉仕されているお年寄りへのお礼、福寿会の活動紹介など、なごやかな雰囲気のもと昼食会が進められていきました。

福寿会は、粟生団地に住む60歳以上のみなさん二十二人で、月に一度集まりがもたれています。会員のみなさんには、お地藏さんの花を自分でとりかえていただいたり、今度の夏祭りでもお手伝いいただいたり、ふだん気がつかないところで奉仕していただいています。

今、福寿会の会員は少なく、男性もわずか一人。みなさん寂しく思っておられます。この団地には60歳以上のかたが百人余りお住まいです。みなさんも楽しい集まりに來られて「仲よし」をたくさんおつくりになられてはいかがですか?待ってられますよ。

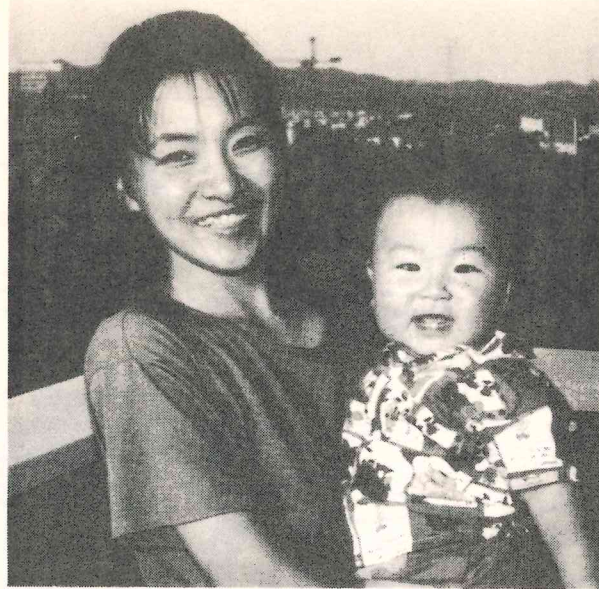
昼食の後は、歌を歌ったり、お話をされたりして楽しめました。会場にはやさしい気づかいと、人生を長く送ってこられたかたの打ちとけた雰囲気がありました。



アオのアカカちゃん

今回は、6月の末に引っ越してきたばかり、16棟に住む松田さんの赤ちゃんを紹介します。

ふっくらとした、かわいい男の子で、写真を撮りにいった時もニコニコ、あいそよくほほえんでくれました。



【赤ちゃん検診】

次回予定日 8月8日(水)
受付時間 午後1時30分から2時30分

場所 集会所

なお、前回(6月13日)は三十四人の赤ちゃんが検診されました。今回も多数の検診をお待ちしています。

た。

元気で、そして早く大きくなあれ

父 松田 則章さん

母 優子さん

赤ちゃん 朗(ほがら)くん

元年11月27日生まれ

【日赤募金、福祉会員の件】

今年も会員のみなさんには、箕面市民日赤募金と福祉会員募集に多数のご協力をいただき、ありがとうございます。

▽日赤募金：一五六、七九八円

▽福祉会費：四九二軒 二四六、二五〇円

御寄付に対し、厚くお礼申し上げます。福祉厚生部より

簡易保険の手数料

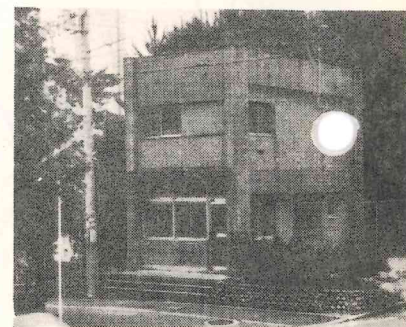
集金の手数料の一部が自治会の収入になりました

4月分 40,214円

5月分 40,544円

(事業共済部より)

派出所を訪ねて



今回、「粟生団地の見張り番」として日ごろお世話になっている粟生間谷派出所への、感謝とその労をねぎらう意味を込めて、派出所取材を試みました。

「粟生間谷派出所」は、昭和50年3月にちょうど粟生団地の建設にあわせてつくられました。現在、ここを担当されているのは箕面警察署警ら課の三名さんと、森俊明さん(36歳)、吉村敏明さん(30歳)、山本香春さん(30歳)。派出所には三日に一回のローテーションで出向いておられます。

毎月発行される「派出所だより」は、前の月の半ばごろから、本署の警ら課内で準備し始めるそうです。「防犯月間」「交通安全運動」など、その月その月の活動指針を柱に構成していくらしいのですが、その他の記事集めに骨を折るとのことでした。



森さん



吉村さん



山本さん

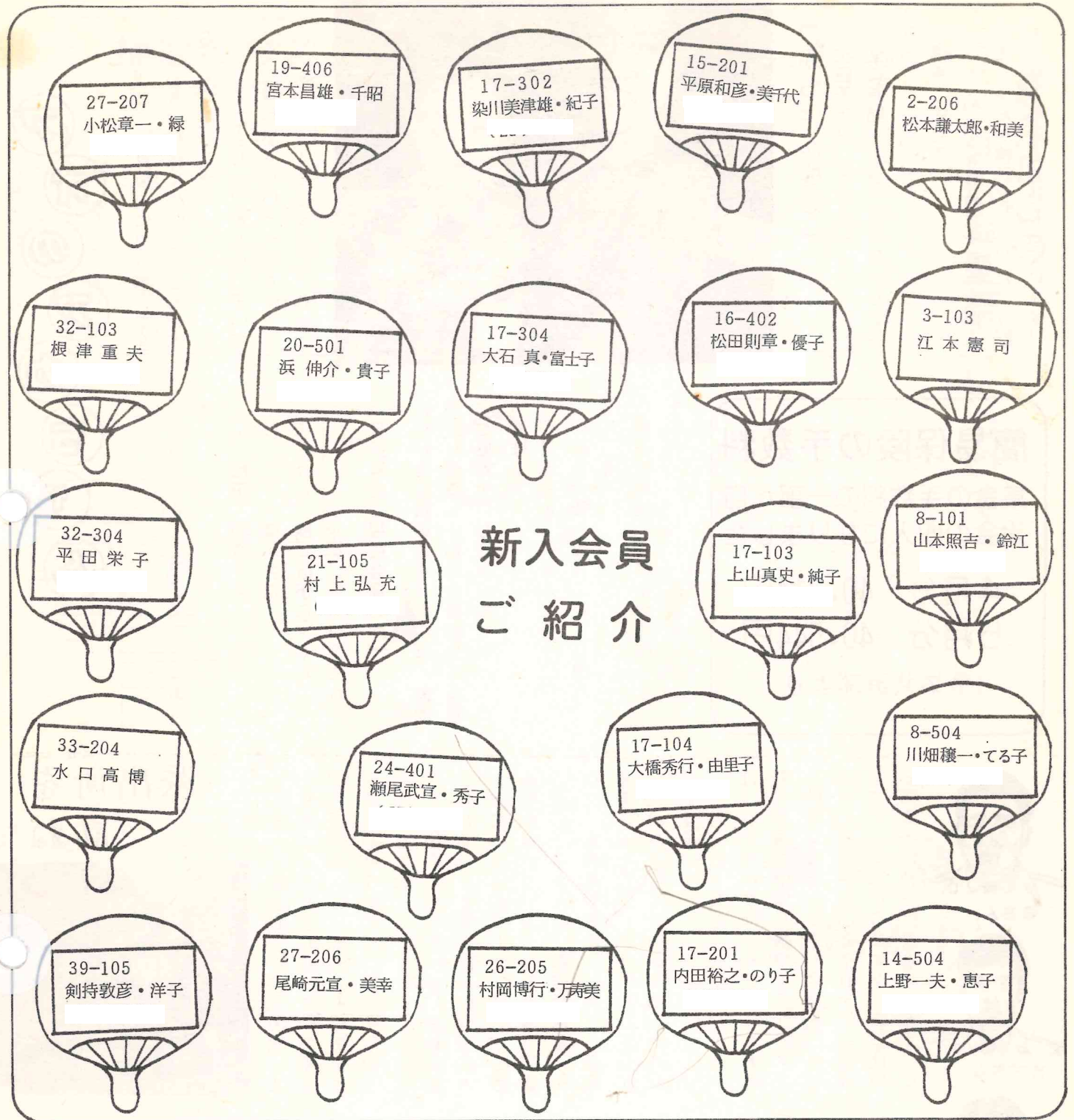
最後に、応対して下さった吉村さんに「粟生団地の住民に望むことは？」と尋ねてみました。

吉村さんは「まず交番は怖い所だという考えはなくしていただきたいですね。お気軽に声などかけてもらえたら嬉しいのですが。それから私たちは巡回で派出所を空けることが多いのですが、何かあったら派出所内の専用電話で連絡してください。本署を経て私たちの無線に連絡が入るようになっており、すぐ帰る事ができますから。とにかく、これからは地域の中にもっと溶け込んで、みなさんとともに地域の安全を考えていきたいと思っています」と話してくださいました。

お勤め本当にご苦労さまです。私たちが派出所のかたを見かけたら、「こんにちは」「ご苦労さま」の一言でもかけられるようにしたいですね。

お忙しいところ、取材にご協力いただいた警ら課のみなさん、特に取材の段取りまでしてくださった中城係長さん、本当にありがとうございます。ありがとうございました。





編集後記



▽恒例の盆踊りが中止になったものの「多くの会員が参加でき、家族で楽しめるものを」と計画した夏祭り(夜店)。本当に役員一同、手作りの祭りです。ぜひ、みなさんパンダ公園に足を運んでくださいな。

▽福寿会のみなさんを始め、お年寄りの登場する企画が欲しいなあ。何かいいアイデアありませんか？

▽今号は、イラストをふんだんに使ってみました。その分記事量は少なくなりましたが、感想はいかかなものでしょう？!

▽この2カ月で、自治会に新しく二十三組ものかたがたが入ってられました。新入会員のかたにも親しみを持ってもらえるよう「あお」づくりに努力していきます。

